周 術 期

4月18日「よい歯 の旦

な治療の、術前、術中、 思いますが、手術が必要 関き慣れない方も多いと 術後(回復期)の、 「周術期」という言葉、 一連

の期間のことを指します。 の細菌が住んでいます。 とを指します。 細菌の温床で、数百種類 口腔内は

われています。一般的に、 の濃度は大便と同等と言 歯に付着する歯垢中の菌 細菌が多い状態であれば、 抗力が落ちやすく、合併 手術を受けると身体の抵 す。口腔内が汚れていて、 症を発症しやすくなりま その危険性

1. 全身麻酔 より高くなり いくつか例 切です。 腔内の細菌をできるだけ

ます。

(かかりつけ歯科・連携歯科)

高高

の際、

歯科のフォローアップ (かかりつけ歯科・連携歯科)

チューブを気 呼吸の 国の健康保険に「周術期 しましょう。詳しくは、 完結し、手術をしないケ 項目が設けられています お尋ねください かかりつけの歯科医院に 天の霹靂だと思われます が付けられています) (抗がん剤などで治療を *等、口腔機能管理」の 、分けられてハます)。・スも含まれるため、等に その重要性の高さから、 、予期しない事態に備 入院は多くの場合、 青

周術期口腔機能管理のイメージ り、唾液中のが気管へ入 嚥下 誤嚥性肺炎を 細菌が原因で と 2. 病気等で 肺炎にかかっ 気管へ入り、 細菌も一緒に 管に入れる時 くなっている み)機能が弱 てしまう。 食道へ行 口腔内の (飲み込

•

病院内齒科

入院後口腔内チェック

療で、口腔りついて、 ら細菌が血液中へ入り全で炎症を起こした歯茎か 身を巡ることで感染症に かかりやす 歯周炎(歯槽膿漏)

子を行い、手術時には口手術前から十分な口腔ケ の炎症が重症化しやす 症を起こすことがあるが、 口腔内細菌が多いと、 それらの予防として、 そ

入れを十分に行い、お口検診を受け、日々のお手え、歯科医院で定期的に

(鶴岡地区歯科医師会)